

柿崎区柿崎川左岸地域 避難行動計画【出羽町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・戸別受信機で、防災行政無線が受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

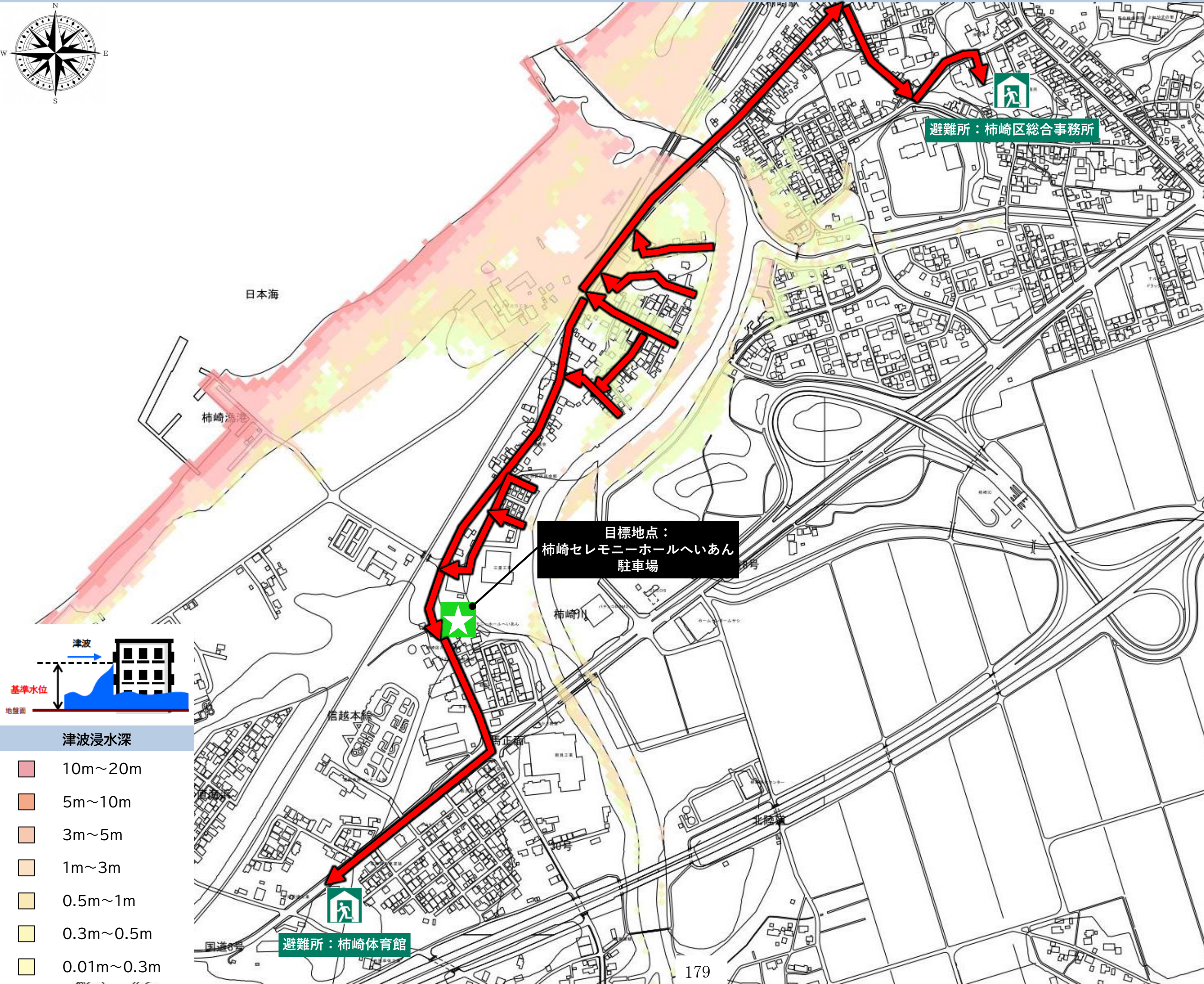
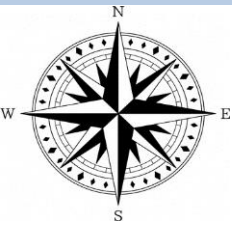
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールで地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	3 原則として、速やかに避難目標地点に向かい、状況に応じて、指定緊急避難場所等に向かいます。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	○避難目標地点 ・柿崎セレモニーホールへいあん駐車場 ○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・柿崎体育館 ・柿崎区総合事務所 ※状況に応じて、避難する
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。
2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。	5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。
3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	6 浸水想定範囲外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所
兼指定避難所



指定緊急避難場所



指定緊急避難場所
(津波避難ビル)



町内会が定めた
避難目標地点



避難上の注意点



指定緊急避難場所兼指定避難所

- ・ 柿崎区総合事務所
- ・ 柿崎体育館

※津波発生時は、浸水想定区域外への避難を原則とする。



避難目標地点

- ・ 柿崎セレモニーホール
へいあん 駐車場

避難行動の流れ

- 指定緊急避難場所の「柿崎区総合事務所」及び柿崎体育館へ避難する。
- 鉄道のずい道付近の交差点では、水の流れに注意し避難する。
- 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。

柿崎区柿崎川左岸地域
 避難行動計画【直海浜町内会】

1
 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
- 上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
- 津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - 上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。

各家庭で考えた高台に、まずは避難する

- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
- 避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - 家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
- 戸別受信機で、防災行政無線が受信できるか確認しておきましょう。
 - 緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

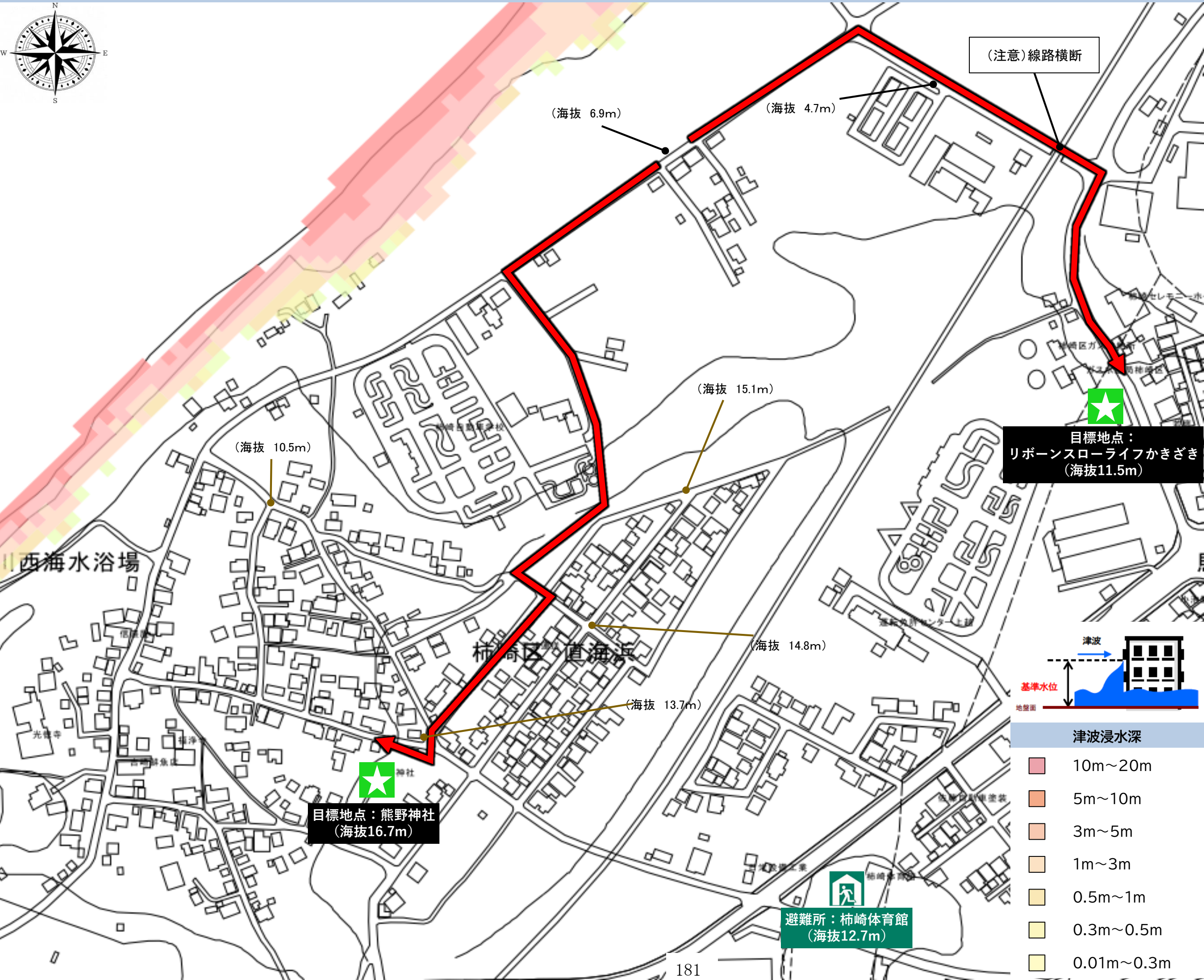
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
- 個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
- 冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
- 町内会は、毎年 1 回、津波などに備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
- 町内会長（各組長）は、地域の危険個所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2
 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動 1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	(2) 津波に関する情報の入手方法 1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールで地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装 1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	(4) 避難の方法・避難先 1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、速やかに避難目標地点に向かい、状況に応じて、町内または地域ごとにあらかじめ定められた指定緊急避難場所等に向かいます。 ○避難目標地点 ・(株)リボーン スローライフかきざき ・熊野神社 ○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・柿崎体育館 4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定範囲外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

柿崎区柿崎川左岸地域 避難行動計画【直海浜町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所
兼指定避難所



指定緊急避難場所



指定緊急避難場所
（津波避難ビル）



町内会が定めた
避難目標地点



避難上の注意点



指定緊急避難場所兼指定避難所

- 柿崎体育館

※津波発生時は、浸水想定区域外への避難を原則とする。



避難目標地点

- リボンスローライフかきざき
- 熊野神社



避難行動の流れ

- 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
- 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
- 状況に応じて、柿崎体育館へ避難する。
- 時間帯によっては、自宅での垂直避難も有効である。
- 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。

柿崎区柿崎川左岸地域 避難行動計画【三ツ屋浜町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・戸別受信機で、防災行政無線が受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

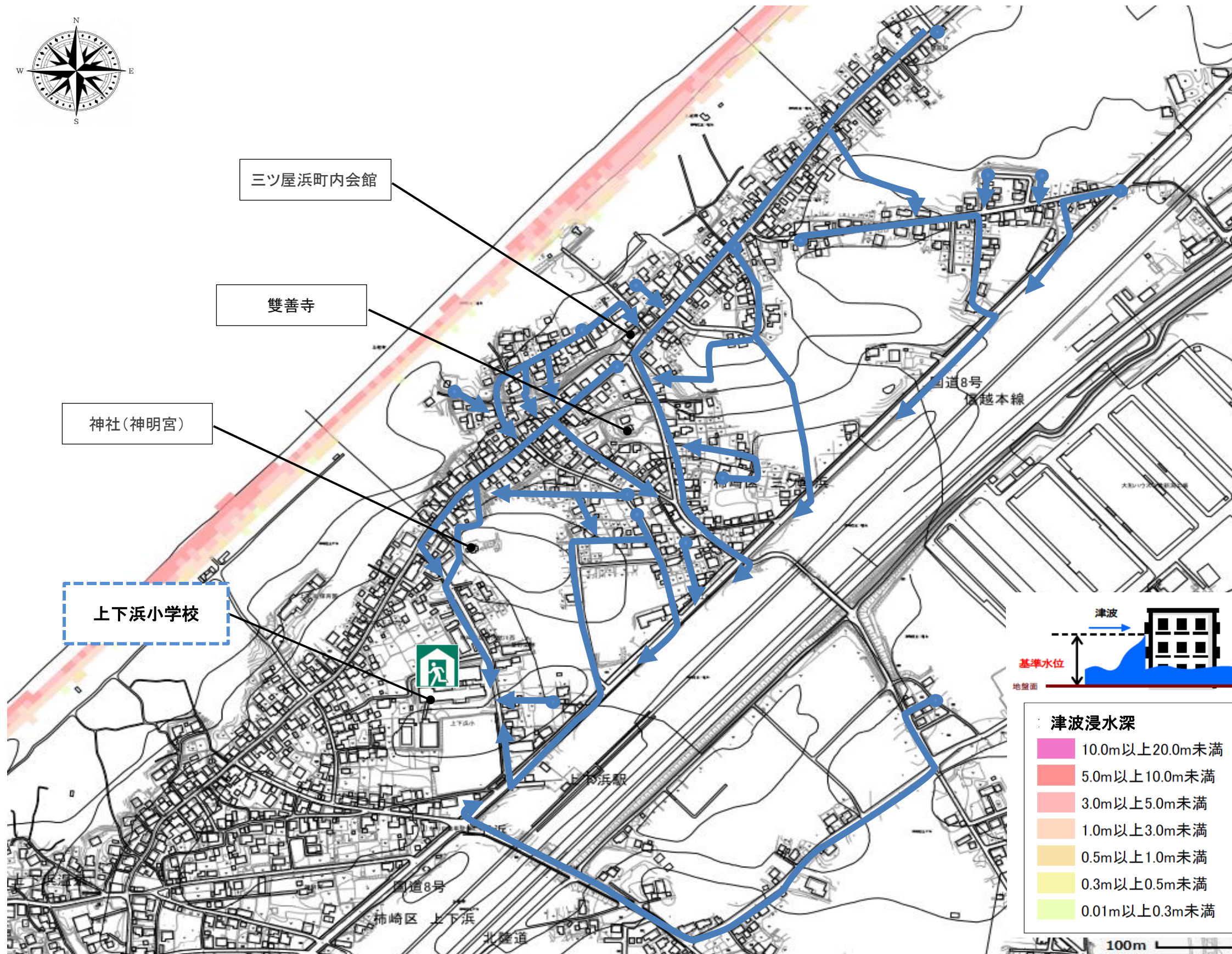
- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年 1 回、津波などに備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールで地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	3 原則として、指定緊急避難場所兼指定避難所に向かいます。 ○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・上下浜小学校
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。水路に近付くことも危険です。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。	
2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。	
3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

柿崎区柿崎川左岸地域 避難行動計画【三ツ屋浜町内会】

避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

○ 指定緊急避難場所兼指定避難所
・ 上下浜小学校

○ 避難行動の流れ

- ・ 上下浜小学校を目指し、避難行動を開始する。
- ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
- ・ 国道8号線では、道路交通状況及び被害状況を確認の上、避難する。
- ・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。

※ 冬期間の避難経路は、市道とする。

○ 緊急持出品

- ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

柿崎区柿崎川左岸地域 避難行動計画【馬正面町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年1回、津波等に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

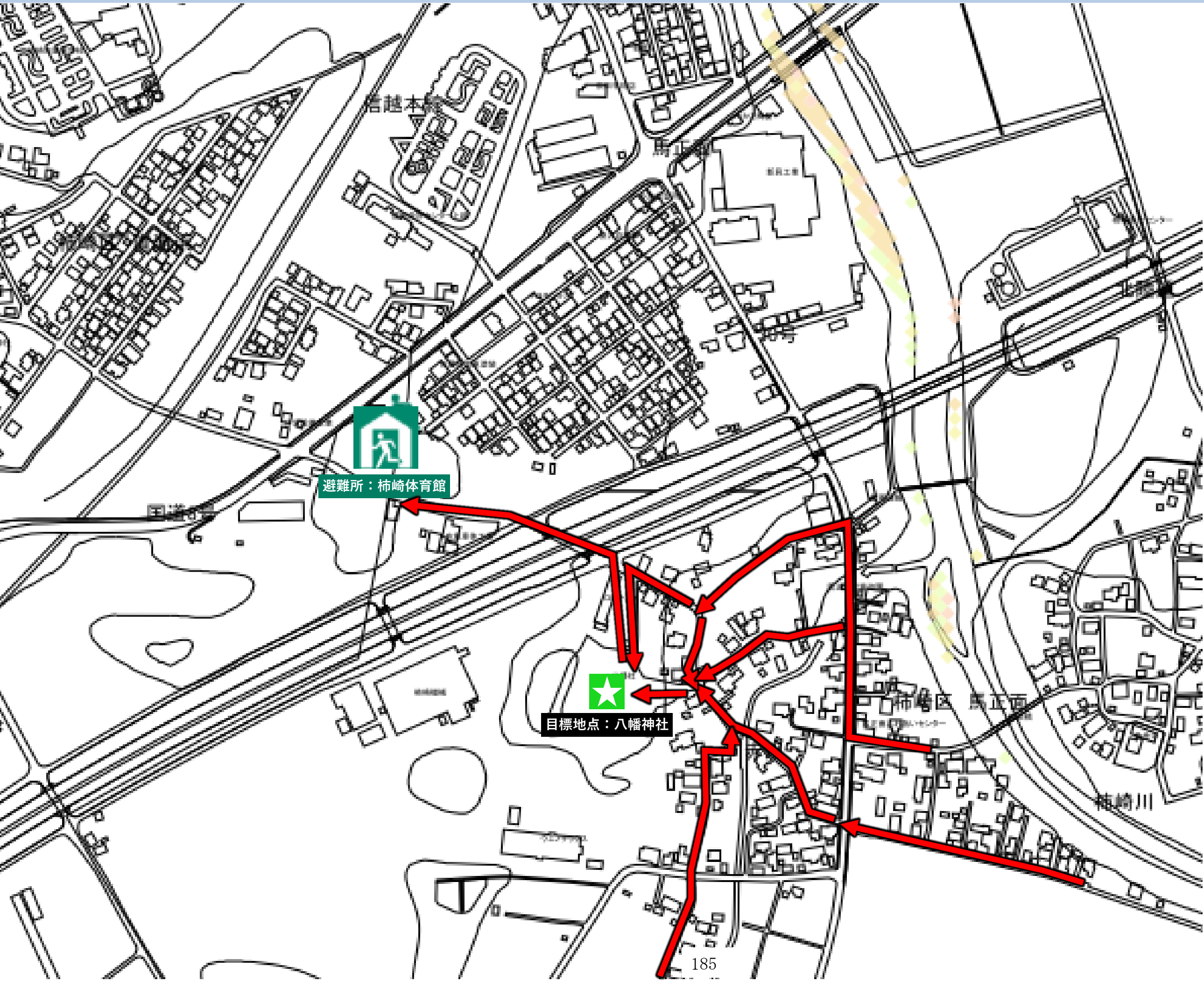
2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 可能な限り近隣に声を掛けて避難します。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	3 原則として、町内または地域ごとにあらかじめ定められた指定緊急避難場所兼指定避難所に向かいます。
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・柿崎体育館
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定範囲外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

柿崎区柿崎川左岸地域

避難行動計画【馬正面町内会】

避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所
兼指定避難所



指定緊急避難場所



指定緊急避難場所
(津波避難ビル)



町内会が定めた
避難目標地点



避難上の注意点



指定緊急避難場所兼指定避難所

- ・ 柿崎体育館

※津波発生時は、浸水想定区域外への避難を原則とする。



避難目標地点

- ・ 八幡神社